

ALTを活用した実践授業

文京区では、児童・生徒が授業および授業以外でも外国人英語指導助手(以下「ALT」)とコミュニケーションをとったり学習したりする機会を十分に確保し、これからの国際社会で必要とされるコミュニケーション能力の育成を図る「英語力向上推進事業」に取り組んでいます。



▲ドリー先生の授業の様子

ALTは全小中学校に配置され、担任の先生や英語科の先生等と一緒に教室にいる状況で指導に当たっています。令和5年度からは小学校では全校、長時間の配置となり(中学校は2校)、これまで以上に児童・生徒との交流や英語指導に携わります。

今号では様々な取組みがある中で、駒本小学校の実践をご紹介します。

駒本小学校では、地域学校協働本部の協力を得て、留学生を招いての英語の学習を進めています。

今年度は、東洋大学の留学生や駒本小学校のALTのドリー先生のお友達に呼びかけて英語の学習のお手伝いをさせていただきました。

参加した留学生は、ベトナムから留学生ハンさん、タオさん、韓国から旅行で来ていたドリー先生のお友達のユンさんです。

授業は、5年生で行われ、子どもたちが簡単な自己紹介と日本の季節行事についてを英語で考えてスピーチを行う内容でした。

ユンさんは韓国で英語の教員をしています。参観後には「声が大きく、堂々とした態度が素晴らしい。韓国の中学生に見せてあげたいくらい。」とお褒めの言葉をいただきました。

また、サプライズとして、ドリー先生のお母様が、アメリカからオンラインで参加してくださ



▲(左から)ドリー先生、ユンさん、ハンさん、タオさん



▲ハンさんの自己紹介



▲スピーチを聞いた感想を子どもたちに伝えています。

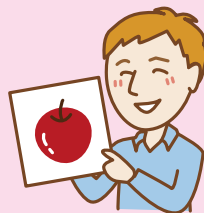


▲留学生に日本のことを教えるスピーチをしています。▲



からオンラインで参加していただきました。

子どもたちは本物の英語に触れ、自分たちの話す英語が相手に伝わることを実感した授業となりました。



▲ドリー先生のお母様がオンラインでアメリカから参加してくれました。

☆スピーチの流れ☆ ※1分間

| | |
|---------|----------------------------|
| 挨拶 | Hello. |
| 名前 | My name is (), / I'm (). |
| 自己紹介 | 好きなこと I like (). |
| 得意なこと | I can (). |
| 紹介文 | I want to talk about (). |
| 季節の行事紹介 | We have () in (). |
| 感想 | You can (). |
| 終わりの言葉 | Thank you for listening. |

教育指導課 ☎03(5803)1300

☆スピーチに使える表現☆

| | | | |
|--------------------------|---|---|--|
| 名前 | 私の名前は、花子です。 私は、花子です。 | We have hanami in spring. We have Star Festival in summer. We have shitogogon in fall. We have New Year's Day in winter. | 春には、花見があります。 夏には、七夕があります。 秋には、七五三があります。 冬には、元日があります。 |
| 私の好きな物 | 私は、野球が好きです。 私は、折り紙が大好きです。 | You can eat chirashizushi. You can see beautiful cherry blossoms. You can enjoy talking with your friends under the tree. You can write your wish on the paper. You can visit a shrine. | あなたはちらし寿司を食べることができる。 あなたはきれいな桜の花を見ることができる。 あなたは、木の下の、友達と会話を楽しむことができる。 願いごとをその紙に書くことができます。 あなたは、神社に行くことができます。 |
| 自分のできること | 私は、ギターを弾くことができます。 私は、上手に野球をすることができます。 | It's interesting. | それは、面白いです。 |
| play kendama | けん玉をする | fun | 楽しい |
| play shogi | 将棋をする | nice | 素敵な |
| do karate | 空手をやる | great | すごい |
| do judo | 柔道をやる | wonderful | 素晴らしい |
| do kendo | 剣道をやる | fantastic | 〃 |
| draw a picture | 絵を描く | exciting | わくわくする、興奮する |
| cook well | 上手に料理する | beautiful | きれいな、美しい |
| sing well | 上手に歌う | my favorite | 私のお気に入り |
| swim well | 上手に泳ぐ | | |
| run fast | 早く走る | | |
| ski | スキーをする | | |
| make cranes with origami | 折り紙で鶴を作る | | |
| その他使える表現 | I want to make foreign friends. I want to talk about hanami. | Please look at this picture. This is hanamidango. | この写真を見てください。 これは、花見団子です。 |

1 **特集** ALTを活用した実践授業

2 本郷小学校地域学校協働本部が文部科学大臣表彰を受賞しました

区立小学校教諭が「WBSC Baseball 5ワールドカップ 2022」日本代表として準優勝

2 中高生の秘密基地 b-lab

3 図書館に行こう(第4回)

文京文化財探訪
文京区指定有形文化財に指定をしました
コラム 健康・体力アップ!のヒント

4 きあら映えスポット

学校給食おすすめレシピ
「鶏肉のスタミナ焼き」
東京大学総合研究博物館
スクール・モバイルミュージアム『遭遇』
編集後記

本郷小学校地域学校協働本部が 文部科学大臣表彰を受賞しました



▲地域学校協働本部の活動

本郷小学校地域学校協働本部が令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

本郷小学校では、平成23年度に学校支援地域

本部（現：地域学校協働本部）を立ち上げ、保護者や地域と協力しながら学校支援活動を行っています。活動は多岐にわたり、中でも朝遊びの運営や YouTube を活用した動画配信に力を入れています。

朝遊びは、週3回高学年と低学年で曜日分け、密になりすぎないように工夫しながら実施しています。体を動かすことの楽しさを知ってもらう目的で始まったこの活動は、子どもたちの体力向上、遊び場の確保にも繋がっています。

また、新型コロナウイルス感染症の流行により子ども同士の交流が減り、学校支援活動も制限されるなか、いち早く YouTube を取り入れ



▲朝遊びの様子

て、読み聞かせや学校紹介などの動画を配信してきました。親子で一緒に見ることができる読み聞かせ動画は特に好評で、子どもたちに本を読む楽しさを伝えるだけでなく、親子での時間を過ごすきっかけ作りにもなっています。

地域・保護者・学校の協働のもと行われているこれらの活動が、コロナに負けない継続的な取り組みとして評価されました。

教育総務課地域教育支援担当 ☎03(5803)1306

小学校教諭が「WBSC Baseball 5 ワールドカップ 2022」日本代表として準優勝



▲表彰式後の様子



▲喜びを表す宮之原教諭



▲試合中の様子

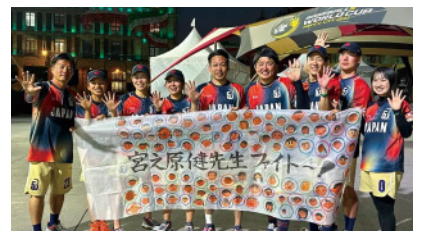
「WBSC Baseball 5 ワールドカップ 2022」が2022年11月7日～13日にメキシコシティで開催され、宮之原 健 教諭が日本代表として参加しました。日本代表は、世界から12ヶ国が参加する中で準優勝という成績を収めました。

Baseball 5というスポーツは、いわゆる「手打ち野球」のスタイルで行われる新スポーツです。基本的なルールは野球やソフトボールと似ていますが、男女混合の5イニング制で行われ、バッターは、一辺3メートルのバッターボックス内で自らトスを上げ、ボールを手で打ちます。

日本代表は、オープニングラウンド・スパーラウンドともに2位で通過しました。決勝では

同1位のキューバと戦い、惜しくも準優勝となりました。

また、宮之原教諭は、Baseball 5のファンを魅了するSNS投稿を行った人物に贈られる「ソーシャルMVP」を受賞しました。宮之原教諭は「優勝は逃しましたが、世界第2位を勝ち取ることができました。子どもたちの応援が大きな力になりました。普段から学校全体で支えていただき、ワールドカップに向けて最高の準備ができました。2026年ユースオリンピック正式種目のスポーツです。スポーツの素晴らしさを伝えていきたいと思えます。」と語っており、今後の活躍が期待されます。



▲児童の思いがこもった横断幕

教育指導課 ☎03(5803)1300

中高生の秘密基地 b-lab

Information 施設情報

名称 文京区青少年プラザ (b-lab)
住所 文京区湯島4-7-10
開館時間 午前9時～午後9時
(ただし、中学生の利用は午後8時まで)
電話 03(5800)2731

文京区青少年プラザb-lab(以下、b-lab)は、区内初の中高生向け施設として、「中高生が自主的な活動を通じて自らの可能性を広げ、社会性を身につけた自立した大人へ成長する場」として、平成27年4月に誕生しました。

文京区の中学生・高校生が、放課後や休日を自由に過ごすことができる「中高生の秘密基地」というコンセプトのもと、「居場所とステージ」それを繋ぐ「きっかけ」を大切にしています。来ると「ホッ。」と安心できて、「よし！」と思えばチャレンジできる、b-labの居場所とステージ。10代のうちに、自らが「やってみよう」に変わる経験、それを全力で応援される経験、

同志と共に励まし合い高め合う経験、それらすべてが人生にとっての安心感と勇気となり、ここぞという場面での後押しになると信じているからこそ、居場所であることだけでなく、ステージに送り出すことも意識しています。

年間延べ来館者数は約25,000人で推移しています(コロナ禍の緊急事態宣言下の時期を除く)。また、令和3年8月末には、ついに、開館からの来館者数延べ150,000人に到達しました。これだけ多くの中高生に利用されるb-labの日常には、友人やスタッフとの関係性をきっかけにb-labを継続して利用する姿があり、単なる利用から一歩踏み込んだ「居場所」としてb-labを利用していることがわかります。その中で、中高生自らイベントの企画や運営に参画する場面も、日々たくさん生まれ

ており、b-labの広報誌を制作する中高生の声から、b-labでの区長インタビューも実現しました。最近では、「好き」を生かしたコミュニティであるb-labサークルが活発に活動しています。ダンスサークルやイラストサークルなど、中高生が自分の好きなことや



▲ダンスサークルの活動の様子



▲区長インタビューの様子

興味関心をきっかけにして、人とのつながりやアクションを深められる機会になっています。このように、b-labにある備品や設備を利用するだけではなく、スタッフや他の中高生と交流したり、新しい体験をできるような運営を意識しています。

区立図書館を会場とした「マナビ場」という自習応援イベントや、「地域こどもプラザ」や児童館とのコラボレーション企画を実施するなど、さらに、地域とのつながりを活かした活動も盛んに行われるようになっていきます。

最後に一言

今後もb-labが、より多くの中高生にとって「居場所とステージ」であるよう、地域のみならず共に歩んでいけたらと思っております。引き続き中高生の活動を応援いただければ幸いです。

図書館に行こう(第4回)

文京区には8つの区立図書館と2つの区立図書室があります。各館には、児童フロアや中高生のためのYA(※)コーナーがあり、さまざまな本を楽しんでいただくことができます。このコーナーでは各館の魅力を紹介します。第4回は、目白台図書館と千石図書館です。ぜひ、あなたのお気に入りの図書館を見つけてください！
真砂中央図書館 ☎03(3815)6801

目白台図書館(関口3-17-9)

おすすめ本の投票コーナー「ほんのもりライブラリー」や、近隣の日本女子大学の学生さんによる読み聞かせの会、シールを集めるとブックカバーが貰える「ピンゴ」など、さまざまな催しを行っています。

児童コーナー



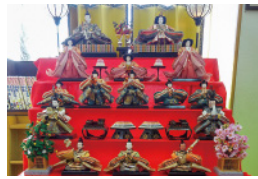
寝ころび台・テーブルでのんびり本を読み、絵本・読み物・調べものの本も充実しています。毎月テーマ別で特集も行っています。

YAコーナー



中高生向けの本をたくさん取り揃えています。YA優先席があり、1人でも友達同士でもゆっくりと座りながら本を読むことができます。

季節の飾りつけ



ひな人形や七夕飾り、ハロウィンやクリスマスツリーなど、季節を感じる装飾を行っています。庭の花々とともにお楽しみください。

YAコーナー



YAコーナーは地下にあります。オススメ図書の「ヨミタ」や、基本から学べる入門書など、10代向けの本を揃えています。

4月1日、図書館の新たな窓口が茗荷谷にオープンしました。

リニューアルした大塚地域活動センター内に、「文京区立図書館サービスカウンター」が設置されました。予約資料の貸出、返却、予約の受付や蔵書資料に関する問合せにも対応します。また、小石川図書館の資料の特集展示と展示資料の貸出も行います。

※YA(ヤングアダルト)…主に10代の読者あるいは図書館利用者を図書館界・出版界で呼称するとき使用する語



文京区指定有形文化財に指定をしました

Information …… 文化財指定情報

| | |
|--------|-----------------|
| 名称及び員数 | 木造阿彌陀如来立像 1 軀 |
| 種別 | 区指定有形文化財 (彫刻) |
| 指定日 | 令和5年3月1日 |
| 所在地 | 春日一丁目12番12号 西岸寺 |
| 所有者 | 宗教法人 西岸寺 |

本像は、古くから西岸寺の本尊として本堂の須弥壇上に安置されています。高さは1メートル弱(約3尺)で、目を伏せた穏やかな表情や、落ち着いた姿、衣服の表現などには、平安時代後期の仏像の特徴がみられます。

本像を伝える西岸寺は、江戸時代初期の元和2年(1616)に開創されたと伝えられる浄土宗寺院です。関連資料によると少なくとも江戸時代の半ばには西岸寺の本尊となっていたことが知られます。

区では、これまでに6件の平安時代の仏像を区指定文化財に指定してきました。7件目となる本像も、区内に残る平安時代後期の優れた作風を示す貴重な文化財です。

なお、本像は西岸寺に所蔵されているため、普段は一般公開していません。詳細は区ホームページをご覧ください。

教育総務課文化財保護係 ☎03(5803)1305



▲木造阿彌陀如来立像

コラム 健康・体力アップ! のヒント

教育センターでは、順天堂大学スポーツ健康科学部の協力のもと、「子どもの健康・体力づくり」に関する取組を行っています。前号に引き続き、「子どもの健康・体力づくり」をテーマにしたコラムを掲載し、子どもたちの健康・体力アップのヒントを紹介します。

With コロナにおける子どものメンタルヘルス: 「運動」から「身体活動」へ

順天堂大学スポーツ健康科学部
准教授 川田 裕次郎

近年、運動が子どものメンタルヘルスを良好に保つために役立つという科学的な証拠が増えてきています。運動が「身体」の健康を保つために重要であることは周知の事実ですが、運動が「心」の健康に及ぼす影響も注目に値します。

近年のシステムティックレビュー(複数の論文を検討して関連や効果の有無を確認する信頼性の高い研究)では、一貫して定期的に運動を行っている子どものメンタルヘルスが良好であることが報告されています。ノルウェーの7,619人の子どもの対象に行われた大規模調査によると、運動頻度の高い子どものメンタルヘルスが良好であることが示されています(図1参照)。運動は体内のストレスホルモンを減少させ、幸福感を高め不安症状を和らげ

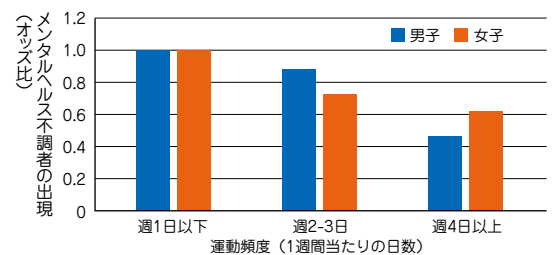
ます。また、運動による適度な疲労感は睡眠を改善させます。さらに、運動はできなかったことができたという感覚を味わう機会を提供し自己効力感を高めます。運動による同年齢や異年齢の者との交流によって社会的スキルの獲得も期待できます。

一方で、近年、子どものメンタルヘル스에ネガティブな関連を示す子どもの行動も明らかになっていきます。学習以外のスマートフォンやタブレット端末、テレビ視聴などを示すスクリーンタイムの長い子どもはメンタルヘルスがよくないことが報告されています。ゲームやSNSは依存性が高く、子どもが自分のスクリーンタイムを自分でコントロールすることは極めて困難です。特に就寝前にスクリーンタイムが増加するため、幼児期や児童期の子どもであれば保護者によるコントロールが必要といえます。

2021年にスポーツ庁がまとめた「全国体力・運動能力調査」の結果から、コロナ禍で体育の授業以外の運動時間が減少したこと、テレビ・スマホ・ゲームなどを視聴するスクリーンタイムが増加したことが報告されています。こうした現状は子どものメンタルヘルスにとってネガティブな影響を与えられ考えられます。私たちはこうした現状を客観的に理解して対応していく必要があります。

それではこの現状に私たちはどう対応していけば良いのでしょうか。そのヒントは激しい「運動」を行わなければならないという思い込みをなくすことです。そして、身体を動かすことを「身体活動」と理解することです。運動が必要だと思うと、激しい運動を行わなければならない

いと考えてしまいますが、本質的には、一定の時間、一定の強度で身体を動かすことが重要なのです。日本スポーツ協会の「子どもの身体活動ガイドライン」では、子どもの最低限必要な身体活動量を「1日60分以上」と示しています。この身体活動には身体を使った遊びや運動だけでなく日常生活で身体を動かすことも含まれています。家のお掃除(床の雑巾掛けや窓拭きなど)、少し距離のあるお店まで歩いて買い物に行くこと、エスカレーターではなく階段を使うことも身体活動の一つです。普段の日常生活を少しの工夫をすることで身体活動量をコントロールすることができます。このように普段の生活の中で身体活動量を確保する機会が数多くあるということに気づくことが大切です。皆さんの生活スタイルではどんな工夫ができるでしょうか。今日から子どもの身体活動を確保する工夫をしてみたいはいかがでしょうか。



1週間あたりの運動頻度が1日以下の子どものメンタルヘルス不調者の出現を1とした場合に週に2~3日、4日以上運動を行う子どものメンタルヘルス不調者が男女共に少ないこと(メンタルヘルスが良好であること)を示している。Guddal et al. Physical activity and sport participation among adolescents: associations with mental health in different age groups. Results from the Young-HUNT study: a cross-sectional survey. BMJ Open 2019;9:e028555. doi:10.1136/bmjopen-2018-028555より筆者作成

教育センター学校支援係 ☎03(5800)2591

きあら映え
スポット

今号も区立の幼稚園や小・中学校自慢の映えスポットをご紹介します。色とりどりの特色がでていますね！



伝統の鼓笛隊「鼓笛隊移杖式」

駒本小学校

昭和29年の開校当時から続いている駒本小学校伝統の「鼓笛隊」。昭和33年には旧国立競技場にて行われたアジア大会で演奏しました。コロナ禍で思うように活動ができなかったが、今年度も無事に6年生から5年生へと鼓笛隊のバトン「指揮杖」が受け渡されました。



梅香る本郷台

本郷台中学校

本郷台中には、校門から校舎まで様々な植物が並ぶ道があります。梅だけでなく、4月頃には桜が咲き、新入生を歓迎してくれます。その他にもたくさんの鮮やかな花が咲き誇り、とても美しい道になっています。

昭和小学校

「おはようございます。」元気なあいさつが、朝から聞こえてきます。昭和小の自慢は、「笑顔あふれる昭和小」を目指し、あいさつ運動に取り組む児童の姿です。代表委員会の児童を中心に、学校全体で推進しています。



「笑顔あふれる昭和小」

後楽幼稚園

体を動かすことが大好きな子どもたち。観覧車とジェットコースターが今だけ限定で見える園庭で、元気に鬼ごっこを楽しんでいます。遊園地にも負けない、楽しいことがいっぱいの後楽幼稚園です。



「大好き！鬼ごっこ」

学校給食おすすめレシピ

「鶏肉のスタミナ焼き」



にんにく、しょうがといった薬味と味噌の組み合わせが鶏肉によく合います。一口サイズなのでお弁当のおかずにもなります。

★材料（2人分）

鶏もも肉一口大 1枚分
250g程度

おろししょうが 小さじ1/2

おろしにんにく 小さじ1/2

※しょうが、にんにくはチューブのものでも可。

練りごま、砂糖

各小さじ1

酒、みりん

各大さじ2

しょうゆ、味噌

各大さじ1

※長い時間漬ける場合、しょうゆ、味噌は各小さじ2程度にする。

炒め用サラダ油

小さじ2程度

★作り方

- ①おろししょうが、おろしにんにく、調味料を合わせて漬けダレを作る。
- ②肉とダレを合わせて1時間程度漬けておく。一晩漬けてもよいです。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、弱めの中火で途中ふたをしながらかかり焼く。

学務課給食担当 ☎03(5803)1299

東京大学総合研究博物館
スクール・モバイルミュージアム

『遭遇』



遭遇

東京大学総合研究博物館コレクション
スクール・モバイルミュージアム

2023/5/20(土) ヤギはなぜ崖に立てるのか～骨の造形に魅せられて～
14:00-15:00 武田精一郎(東京大学大学院生)

2023/6/17(土) 樹上生活のスペシャリスト・サルからヒトへの進化を考える
14:00-15:00 緒方 沙織(東京大学大学院生)

2023/7/22(土) プタとイノシシはどう違うのか～人が動物に与えた変化～
14:00-15:00 本堂 親紹(東京大学大学院生)

2023/8/19(土) 鶏の不思議を追いかける：無知の知と不知の自覚
14:00-15:00 工藤 光平(東京大学総合研究博物館特任研究員)

会場：教育センター2階講義室
対象：どなたでも
定員：40名(抽選)
費用：無料
申込：不要
お問い合わせ：〒113-0034文京区湯島4-7-10 教育センター学校支援係 ☎03(5800)2591

※状況により、会場内の人数制限を行う場合があります。車でのご来場はご遠慮ください。

Information

開催情報

会期 5月10日(水)～9月30日(土)(日曜、祝日を除く。)9:00～17:00
会場 教育センター2階大学連携事業室
展示企画 東京大学総合研究博物館
展示総監督 遠藤 秀紀(東京大学総合研究博物館教授)
展示制作 本堂 親紹(東京大学大学院生)
武田精一郎(東京大学大学院生)

対象 どなたでも

費用 無料

申込 不要 直接会場へ

お問合せ 〒113-0034文京区湯島4-7-10 教育センター学校支援係 ☎03(5800)2591

※状況により、会場内の人数制限を行う場合があります。車でのご来場はご遠慮ください。

ギャラリートーク(講演会)も開催

- 5月20日(土)「ヤギはなぜ崖に立てるのか～骨の造形に魅せられて～」
武田精一郎(東京大学大学院生)
- 6月17日(土)「樹上生活のスペシャリスト・サルからヒトへの進化を考える」
緒方沙織(東京大学大学院生)
- 7月22日(土)「プタとイノシシはどう違うのか～人が動物に与えた変化～」
本堂親紹(東京大学大学院生)
- 8月19日(土)「鶏の不思議を追いかける：無知の知と不知の自覚」
工藤光平(東京大学総合研究博物館特任研究員)
- 詳細は、教育センターHPでご確認ください。



教育センター学校支援係 ☎03(5800)2591

編集後記

春を迎え、新たな生活が始まり、様々な出会いや発見がある季節になりました。今号では、学校での取組のご紹介をはじめ、明るいニュースも掲載していきます。

教育広報誌「きあら」では、これからも、学校での取組や教育関係の情報等、様々な内容を皆様へお届けしてまいります。